


区域調書作成要領

表紙 概況、位置図

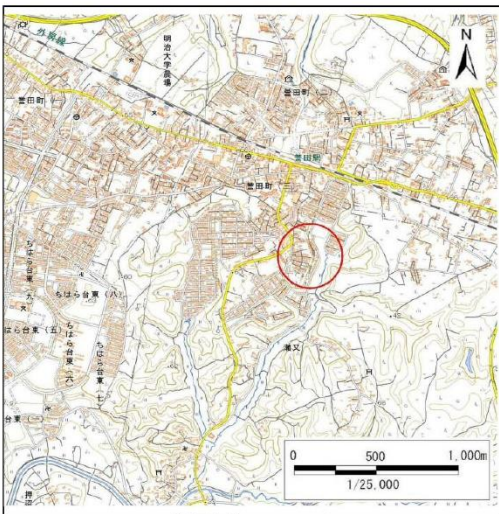
土砂災害防止に関する基礎調査(急傾斜地の崩壊)

表紙 概況、位置図

自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	① I-010019
箇所名	② 誉田町
所在地	③ 千葉市緑区誉田町3丁目・市原市瀬又
調査機関	④ 千葉県千葉土木事務所



⑤ 位置図(S=1:200,000)



⑤ 概況図(S=1:25,000)

千葉県

①箇所番号

基礎調査予定箇所番号を記入する。

②箇所名

読み合わせ*後において決定した基礎調査予定箇所名を記入する。

※参考資料 10 参照。

③所在地

土砂災害警戒区域等の所在地を記入する。(大字まで記入)

なお、市町をまたぐ場合は、面積の大きい大字から順に記入する。

④調査期間

土木事務所名を記入する。

⑤位置図

左側 1/200,000、右側 1/25,000 の地形図に調査箇所の位置を赤丸で示す。

(左右の位置図が同一箇所を示しているか確認する。)

各地形図に、スケールバー・方位を記載する。

様式 1-1 告示履歴等

急傾斜地の崩壊区域調査書				調査年度	令和2年度				
急傾斜地の位置		箇所番号	1-010019		箇所名	茶臼町	所在地	千葉県緑区茶臼町3丁目・市原市瀬文	
① 告示履歴		⑥ 土砂災害警戒区域等の重複		⑦					
告示年月	告示番号	指定・解除	理由	箇所番号	箇所名	自然現象の種類	種類	告示年月	
② 基礎調査履歴									
回数	調査年月	理由							
第1回	令和2年9月	基礎調査作業として							
③ 急傾斜地崩壊危険区域									
指定年月日	告示番号	区域名称							
④ 急傾斜地崩壊危険箇所									
危険箇所番号	箇所名	種類	斜面区分						
⑤ 砂防基盤図									
空中写真撮影年度	令和2年度								
図化年度	令和2年度								
種類	千葉県砂防基盤図(DM、TIN、オルソ写真)								
図面縮尺	1/2,500								
新規・修正の区分	新規								
準拠ガイドライン名	土砂災害防止法に使用する数値地図作成ガイドライン(案)第7版								

①告示履歴

既に告示されている場合に、その内容（告示年月、告示番号、指定・解除の状況、理由）について記入する。（見直し調査、繰返し調査のみ該当）

②基礎調査履歴

基礎調査の実施履歴について、回数、調査年月、理由を記入する。調査年月については業務完了年月とする。

③急傾斜地崩壊危険区域

急傾斜地崩壊危険区域の指定状況について、指定年月日、告示番号、区域名称を記入する。

④急傾斜地崩壊危険箇所

種類（ランク I or II）、斜面区分（自然、人工）を記入する。

⑤砂防基盤図

基礎調査に使用する砂防基盤図について、空中写真撮影年度、図化年度、種類、縮尺、新規・修正の区分、準拠しているガイドライン名を記入する。

⑥土砂災害警戒区域等の重複

他の土砂災害警戒区域等が重複している場合に、箇所番号、箇所名、自然現象の種類、種類（土砂災害警戒区域または土砂災害特別警戒区域）、告示年月を記入する。

⑦調査年度

契約した年度を記入する。

様式 2-1 地形・地質状況等

急傾斜地の崩壊区域調査				調査年度
様式2-1 地形・地質状況等				令和2年度
急傾斜地の位置	箇所番号	箇所名	所在地	
	I-010019	菅田明	千葉県緑区菅田町3丁目・市原市瀬又	
① 地形状況	急傾斜地の地形	東向きで下端延長373m、平均高さ12m、平均勾配13°の斜面である。		
	危害のおそれのある土地等の地形(様式2-2、2-4参照)	斜面上下端共に家屋や構造物に接している。		
	地表の状況	全体に表上に覆われており広葉樹主体の斜面となっているが、大部分は対策施設に覆われている。		
	地盤の状況	全体に表土に覆われており、硬盤りり土砂および砂質土が主体である。		
② 地質状況等	その他の状況	特になし。		
	土質定数等	項目	設定値	設定根拠
		土石等の比重 σ	2.6	一般値を適用した。
		土石等の容積濃度 C	0.5	一般値を適用した。
		土石等の密度 $\rho_m(t/m^3)$	1.8	一般値を適用した。
		土石等の単位体積重量 $\gamma(kN/m^3)$	18.00	一般値を適用した。
		土石等の移動時の内部摩擦角 $\phi(^{\circ})$	30	基礎調査マニュアル(案)(第三紀層分布域)
土石等の堆積時の内部摩擦角 $\phi(^{\circ})$		30	基礎調査マニュアル(案)(第三紀層分布域)	
土石等の流体抵抗係数 f_b	0.025	一般値を適用した。		
土質定数設定根拠等特記事項	現地で土質を確認したうえ、基礎調査マニュアル(案)の一般値を適用した。			
③ 対策施設等状況	対策施設の有無	無 対策施設の有無は様式2-3、諸元は2-4参照		
④ 過去の災害実績等	過去の災害実績等	有	発生件数	1 様式2-5に記載
⑤ 想定される崩壊土量・幅及び深さ	(1)災害実績調査に基づく方法	基礎調査マニュアル(案)に基づいた。 設定根拠		
	(2)当該斜面の変状地形に着目した方法	基礎調査マニュアル(案)		
⑥ 土石等の移動の高さ	hsm(m)	1.00		
	設定根拠	基礎調査マニュアル(案)		

千葉県

①地形状況

急傾斜地の地形：急傾斜地の状況（勾配、地形等）について記入する。

危害のおそれのある土地等の地形：急傾斜地の上下方の土地の状況（宅地、道路、盛土等の人工構造物の有無等）について記入する。

②地質状況等

地表の状況：主に地表の植生状況について記入する。

地盤の状況：表層地質の種類、分布状況について記入する。

土質定数等：土石等の比重、容積濃度、密度、単位体積重量、移動時の内部摩擦角、堆積時の内部摩擦角、流体抵抗係数の設定値及び設定根拠を記入する。内部摩擦角の設定根拠として土質区分を示している場合は、地形状況等に記入した内容と整合がとれているか確認する。

③対策施設等状況

施設の有無を記入する。（効果の有無に関わらず、施設がある場合は「有」とする。）

諸元は様式2-3、位置は様式2-4に記入する。

④過去の災害実績等

過去の災害発生の有無及び件数を記入する。詳細は様式2-5に記入する。

（土砂災害被害状況報告を確認するなど、資料収集に努める。）

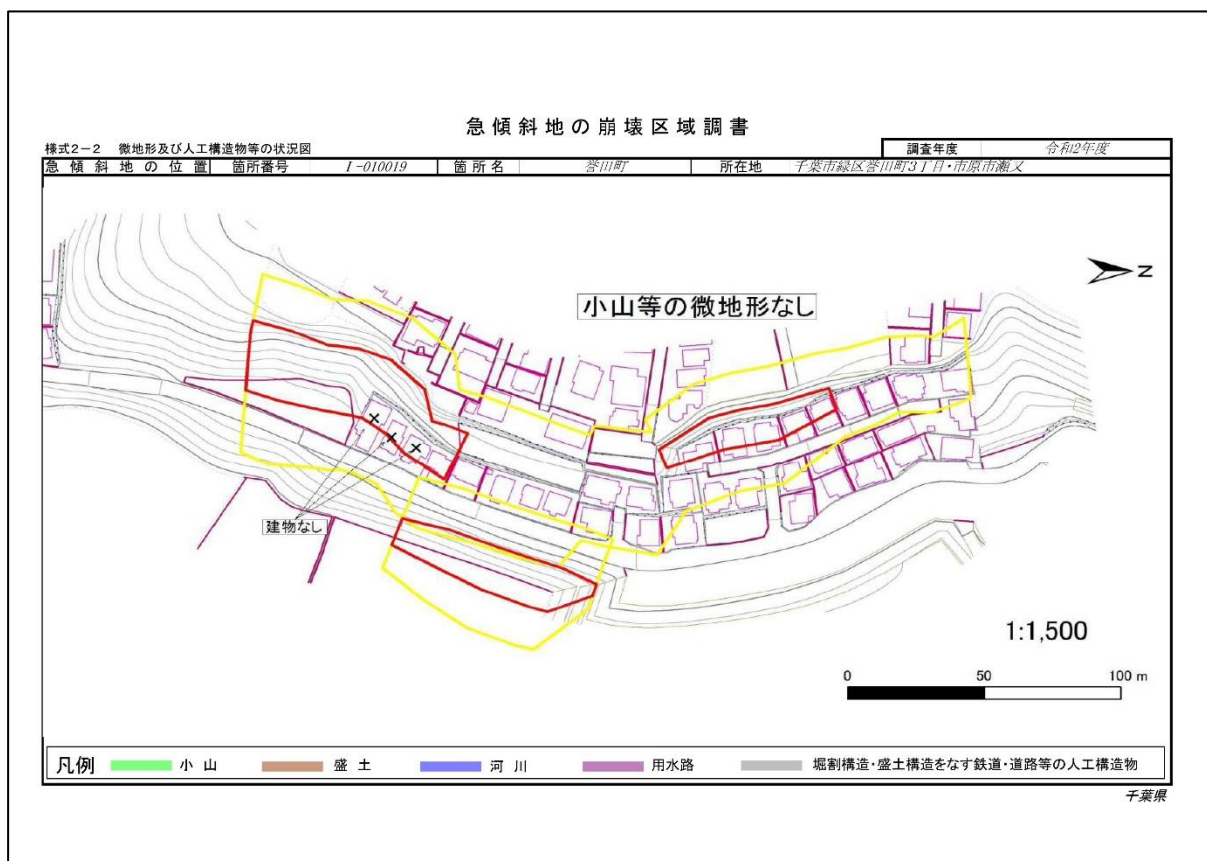
⑤想定される崩壊度量・幅及び深さ

設定方法及び設定根拠を記入する。

⑥移動する土石等の高さ

高さ及び設定根拠を記入する。

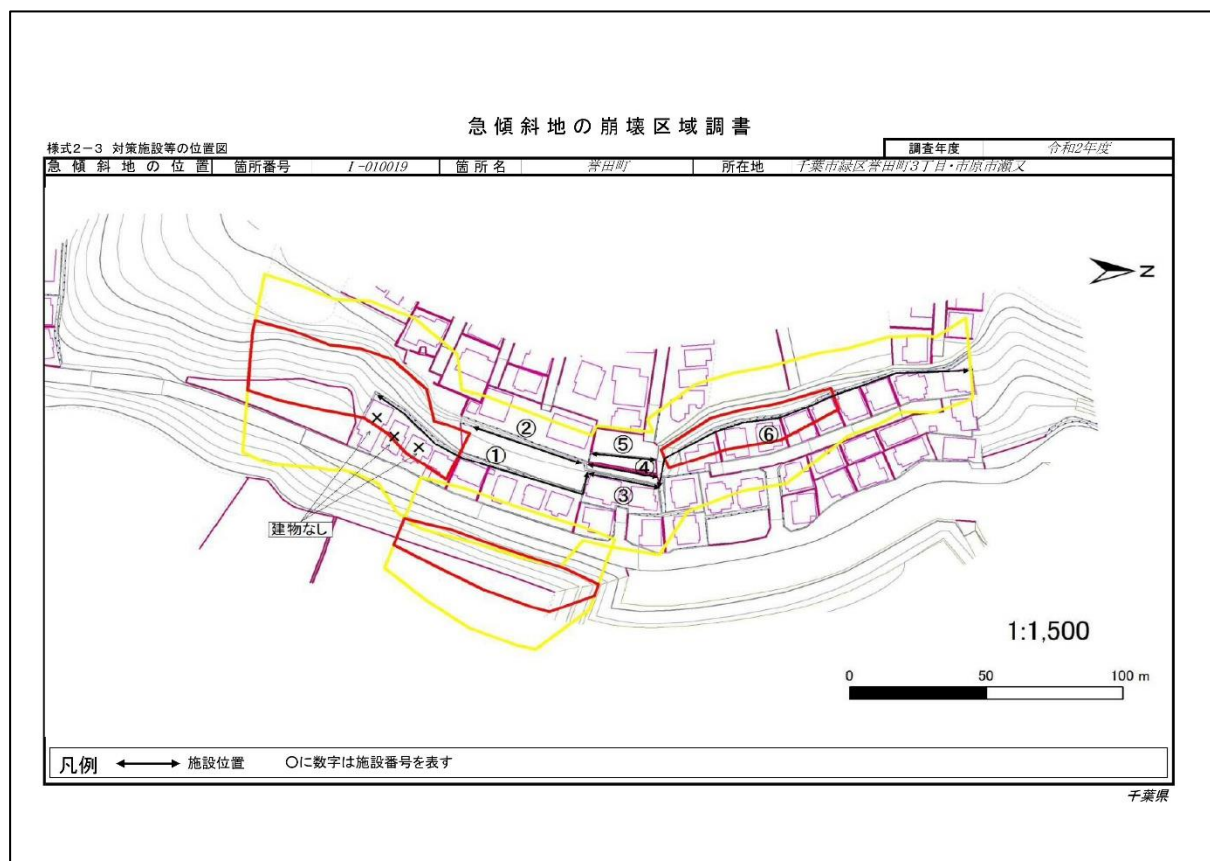
様式2-2 微地形及び人工構造物等の状況図



基盤図で表現されていない微地形及び人工構造物の分布状況等について、概要を記入する。

- ①危害のおそれのある土地等の区域がわかる地形図（白図）に記入する。
図面の縮尺は、必要に応じて拡大する。
- ②危害のおそれのある土地等周辺の小山、盛土、河川、用水路、堀割構造・盛土構造をなす鉄道・道路等の人工構造物を記入する。また、人工構造物の高さ（比高）を記入する。微地形等が無い場合はその旨を記入する。
- ③急傾斜地内において、地形図と大きく異なる改変があった場合はその状況を記入する。

様式2-3 対策施設等の位置図



地形図（縮尺 1/2,500 以上）に対策施設の施工範囲を記載する。
 対策施設毎に附番し、様式2-4 と整合を図る。


様式2-4 対策施設等の諸元

急傾斜地の崩壊区域調査								調査年度 令和2年度	
様式2-4 対策施設等の諸元(1/1)									
急傾斜地の位置	箇所番号	I-010019		箇所名		所在地		千葉県 千葉県	
①施設番号	②区分	工種	工種細分	③施工年月	④事業区分	⑤延長(m)	高さ(m)	⑥施設効果の有無	⑦備考
1	原因地対策	擁壁工	ブロック積擁壁工	不明	6	100.00	2.00～6.90	有	変状が認められないため、施設効果を見込む
2	原因地対策	擁壁工	ブロック積擁壁工	不明	6	50.00	8.00	有	変状が認められないため、施設効果を見込む
3	原因地対策	擁壁工	ブロック積擁壁工	不明	6	25.00	5.40	有	変状が認められないため、施設効果を見込む
4	原因地対策	擁壁工	ブロック積擁壁工	不明	6	25.00	5.15	有	変状が認められないため、施設効果を見込む
5	原因地対策	擁壁工	コンクリート擁壁工	不明	6	25.00	2.00	有	変状が認められないため、施設効果を見込む
6	原因地対策	擁壁工	ブロック積擁壁工	不明	6	85.00	2.90～4.70	有	変状が認められないため、施設効果を見込む

事業区分：1 急傾斜地崩壊対策事業、2 治山事業、3 その他の事業、4 公団・組合などによる事業、5 個人施設、6 不明
千葉県

- ①施設番号
様式2-3と整合を図る。
- ②区分、工種、工種細分
マニュアル(表5.1 対策施設等の種類)による区分と整合を図る。
- ③施工年月
民間施設であっても、市の建築確認申請等の資料から施工年月を記入するよう努める。
- ④事業区分
1 急傾斜地崩壊対策事業、2 治山事業、3 その他の事業、4 公団・組合等による事業、5 個人施設、6 不明から選択する。
- ⑤延長・高さ
延長については平面図上で計測し、述べ延長を記入する。また、一連の施設において高さが異なる場合は幅をもたせて記入する。なお、設計図等があれば転記する。
- ⑥施設効果の有無
マニュアルに基づき、効果評価を行った結果を記入する。
- ⑦備考
施設効果の有無について、理由を記入する。
対策施設が1施設も無い場合は、備考欄の最上行に「対策施設無し」と記載する。

様式2-5 過去の災害実態

急傾斜地の崩壊区域調査										調査年度	令和2年度	
急傾斜地の位置		箇所番号	I-010019		箇所名	谷田野		所在地	千葉県緑区谷田野3丁目・市原市潮又			
発生日時等	発生年月日	令和1年10月25日		発生時刻	13:00	発生位置	北緯	35°32'25"	東経	140°12'51"		
崩壊の規模	急傾斜地の高さ H1(m)	20.00		急傾斜地の傾斜度 θ(°)	31.00		崩壊長 L1(m)	最大崩壊深さ D(m)	3.00			
	崩壊高さ H2(m)			崩壊幅 W1(m)	35.00				崩壊又は流出土砂量 (m³)	650.00		
	土石等の広がり幅 W2(m)			土石等の到達距離 L2(m)								
災害発生状況												
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 5px;">① 崩壊の規模</div>  </div>												
被害	人的被害の状況		死者(人)	2		行方不明者(人)	0		負傷者(人)	0		(重傷者: 0 軽傷者: 0)
			被災戸数(戸)	2		(全壊・流出)	2		半壊	0		一部損壊: 0
気象	被災家屋の構造		木造		非木造							
	降雨量	連続雨量(mm)	329.0		最大24時間雨量(mm)	329.0		最大時間雨量(mm)	90.0			
観測所名		異常気象名 10月25日低気圧大雨										
その他特記事項												

千葉県

過去の災害実績がある場合に作成する。(発生件数に合わせて作成する)

主に土砂災害被害状況報告を参考に記入する。

①崩壊の規模

崩壊発生日時、場所(緯度・経度)、崩壊の規模等を記入する。

災害発生状況には、空中写真、災害概況図、写真等を掲載する。

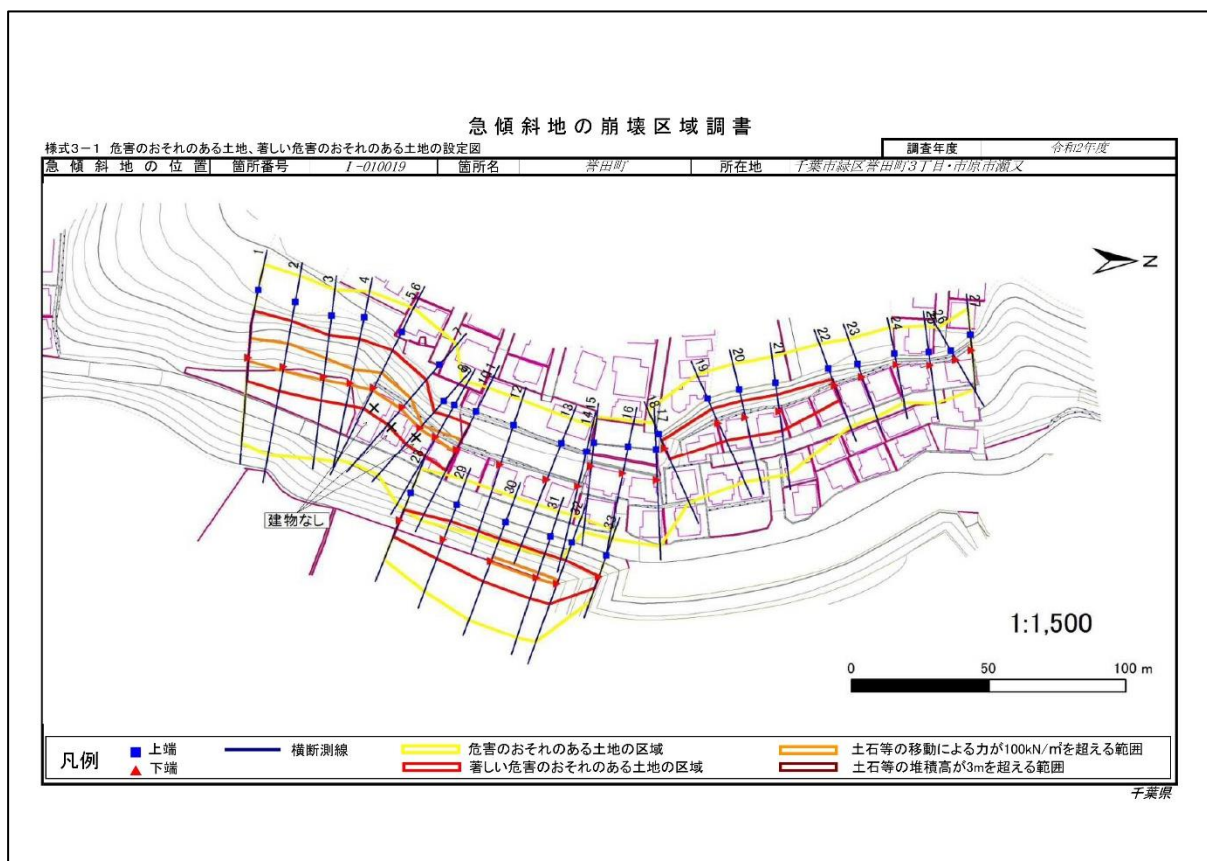
②被害

死者、行方不明者、負傷者、被災戸数、被災家屋の構造を記入する。被災家屋の構造については、該当する戸数を記入する。

③気象

連続雨量、最大24時間雨量、最大時間雨量、雨量観測所の名称、異常気象名を記入する。

様式3-1 危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定図



縮尺 1/2,500 以上の地形図を使用する。

凡例に沿って、上下端、横断測線及び測線番号、危害のおそれのある土地の区域等、土石等の移動による力が 100kN/m² を超える範囲、土石等の堆積高が 3m を超える範囲について図示する。

主な着眼点は以下のとおり。

- ・隣接する横断測線が、上端と下端の間で交差していないか。
- ・著しい危害のおそれのある土地の区域が、危害のおそれのある土地の区域の外側に設定されていないか。
- ・危害のおそれのある土地の区域が、河川や対岸斜面等の明らかに土石等の到達しない範囲に設定されていないか。
- ・横断測線の設定が、土石等の落下をイメージしたものとなっているか。

様式3-2 建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項

急傾斜地の崩壊区域調査										調査年度						
様式3-2 建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項(1/3)										令和2年度						
急傾斜地の位置		箇所番号		箇所名		所在地		急傾斜地内								
I-010019		I-010019		笠田町		千葉県緑区笠田町3丁目・市原市瀬又										
横断 測線 番号	① 土石等の移動の高さと力の大きさ				② 土石等の堆積高さと力の大きさ				① 土石等の移動の高さと力の大きさ				② 土石等の堆積高さと力の大きさ			
	区分	高さ (m)	下端からの距離 (m)	力の大きさ (kN/m ²)	区分	下端からの水平 距離(m)	高さ (m)	力の大きさ (kN/m ²)	区分	高さ (m)	上端からの比高 (m)	力の大きさ (kN/m ²)	区分	上端からの比高 (m)	高さ (m)	力の大きさ (kN/m ²)
1	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.08	116.32	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	11.55 ~ 16.20	116.32	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.08 ~ 8.87	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.87	2.14	11.46	それ以外	1.00	5.00 ~ 11.55	100.00	それ以外	5.00 ~ 16.20	2.14	11.46
2	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.55	123.70	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	10.85 ~ 17.00	123.70	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.55 ~ 9.31	100.00	それ以外	0.00 ~ 9.31	2.22	11.90	それ以外	1.00	5.00 ~ 10.85	100.00	それ以外	5.00 ~ 17.00	2.22	11.90
3	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.28	119.39	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	10.89 ~ 15.68	119.39	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.28 ~ 9.07	100.00	それ以外	0.00 ~ 9.07	2.22	11.86	それ以外	1.00	5.00 ~ 10.89	100.00	それ以外	5.00 ~ 15.68	2.22	11.86
4	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 0.72	110.67	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	12.07 ~ 15.20	110.67	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	0.72 ~ 8.50	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.50	2.11	11.27	それ以外	1.00	5.00 ~ 12.07	100.00	それ以外	5.00 ~ 15.20	2.11	11.27
5	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.06	115.95	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	11.15 ~ 15.20	115.95	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.06 ~ 8.85	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.85	2.18	11.67	それ以外	1.00	5.00 ~ 11.15	100.00	それ以外	5.00 ~ 15.20	2.18	11.67
6	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.06	115.95	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	11.15 ~ 15.20	115.95	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.06 ~ 8.85	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.85	2.05	10.95	それ以外	1.00	5.00 ~ 11.15	100.00	それ以外	5.00 ~ 15.20	2.05	10.95
7	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 0.87	113.09	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	10.97 ~ 14.00	113.09	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	0.87 ~ 8.66	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.66	2.07	11.07	それ以外	1.00	5.00 ~ 10.97	100.00	それ以外	5.00 ~ 14.00	2.07	11.07
8	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 0.36	105.38	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	10.81 ~ 11.80	105.38	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	0.36 ~ 8.15	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.15	2.33	12.45	それ以外	1.00	5.00 ~ 10.81	100.00	それ以外	5.00 ~ 11.80	2.33	12.45
9	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 0.72	110.66	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	12.26 ~ 14.62	110.66	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	0.72 ~ 8.50	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.50	1.98	10.60	それ以外	1.00	5.00 ~ 12.26	100.00	それ以外	5.00 ~ 14.62	1.98	10.60
10	100kN/m ² を超える	1.00	0.00 ~ 1.21	118.24	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	1.00	11.15 ~ 15.00	118.24	3mを超える	—	—	—
	それ以外	1.00	1.21 ~ 8.99	100.00	それ以外	0.00 ~ 8.99	1.88	10.05	それ以外	1.00	5.00 ~ 11.15	100.00	それ以外	5.00 ~ 15.00	1.88	10.05
11	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—
	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—
12	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—
	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—
13	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—
	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—
14	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—
	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—
15	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—	100kN/m ² を超える	—	—	—	3mを超える	—	—	—
	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—	それ以外	—	—	—

千葉県

建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項について、下端に隣接する土地及び急傾斜地内における「土石等の移動の高さと力の大きさ」と「土石等の堆積高さと力の大きさ」を測線番号毎に記入する。(様式4-4と整合を図る。)

①土石等の移動の高さと力の大きさ

100kN/m² を越える場合とそれ以外を区分とし、土石等の高さとは下端からの距離、力の大きさを記入する。

②土石等の堆積高さと力の大きさ

3m を超える場合とそれ以外を区分とし、下端からの水平距離と堆積高さ、力の大きさを記入する。

様式3-3 (1) 危害のおそれのある土地等の調査等

急傾斜地の崩壊区域調査										調査年度
様式3-3(1) 危害のおそれのある土地等の調査等										令和2年度
急傾斜地の位置	面所番号	I-010019		箇所名	菅田町		所在地	千葉県緑区菅田町3丁目・市原市瀬文		
地形概要	下延延長(m)	375	最大高さ(m)	17	平均高さ(m)	12	最大勾配(°)	62	平均勾配(°)	43
危害のおそれのある土地の状況										
土地の面積 17,054 m ²										
道路	水路	池沼	宅地	農地	山林	備考				
上端に隣接する土地	○	—	○	○	○					
急傾斜地	—	—	—	—	—	①				
下端に隣接する土地	—	—	○	○	○					
人家戸数	267 戸									
公共施設等の状況	J R(m)	0	私鉄(m)	0	高速道路(m)	0	国道(m)	0	都道府県道(m)	0
	市町村道(m)	0	その他道路(m)	325	河川(m)	0	橋梁(基)	0		
公共的建物全施設数 0 内、要配慮者利用施設数 0										
公共的建物 要配慮者利用施設	建物番号	種類	構造	施設数	名称	建物番号	種類	構造	施設数	名称
	1					6				
	2					7				
	3					8				
	4					9				
	5					10				
害い危害のおそれのある土地の調査										
土地の面積 3,935 m ²										
人家戸数	全戸数	267	木造戸数	6	非木造戸数	0	構造不明戸数	0		
公共施設等の状況	J R(m)	0	私鉄(m)	0	高速道路(m)	0	国道(m)	0	都道府県道(m)	0
	市町村道(m)	0	その他道路(m)	0	河川(m)	0	橋梁(基)	0		
公共的建物全施設数 0 内、要配慮者利用施設数 0										
公共的建物 要配慮者利用施設	建物番号	種類	構造	施設数	名称	建物番号	種類	構造	施設数	名称
	1					4				
	2					5				
警戒避難体制に関する調査										
地域防災計画への記載の有無	—	自主防災組織の有無	—	計器設置の有無	—					
最寄りの雨量計の位置等	所在地	緑区あすみが丘4-16		名称	土気府小学校		管理者	千葉県		
基準雨量の設定の有無	—	警戒基準	—	避難基準	—	発生基準	—			
予警報等情報伝達システムの有無	有	整備状況等	防災行政無線、らばし災害緊急通報メール、千葉県広報広聴課ツイッター、千葉県公式LINEアカウント、電話・FAXによる災害緊急時情報配信サービス							
避難路の設定の有無	無	避難場所	菅田小学校		所在地	千葉県緑区菅田町2-21-84		建築構造 RC構造		
住民への防災情報周知状況	防災マップ等の作成									
防災訓練等の実施状況	毎年防災の日、防災週間及びその他の日に実施									

①土地利用

土地利用状況について、該当するものに「○」を該当しなければ「—」を記入する。
様式3-5との整合を図る。

②人家戸数

人家戸数について、全戸数、構造（木造・非木造）を記入する。
様式3-4との整合を図る。

③公共施設等の状況

道路、鉄道、河川等について、種類別に延長等を記入する。

④公共的建物、要配慮者利用施設

種類、構造、施設数を記入する。備考欄に具体的な施設名称、定員等を記入する。
様式3-4との整合を図る。

⑤警戒避難体制

最新の地域防災計画を確認し、地域防災計画への記載状況や防災訓練等の実施状況等を記入する。

様式3-3(2) 危害のおそれのある土地等の調査等

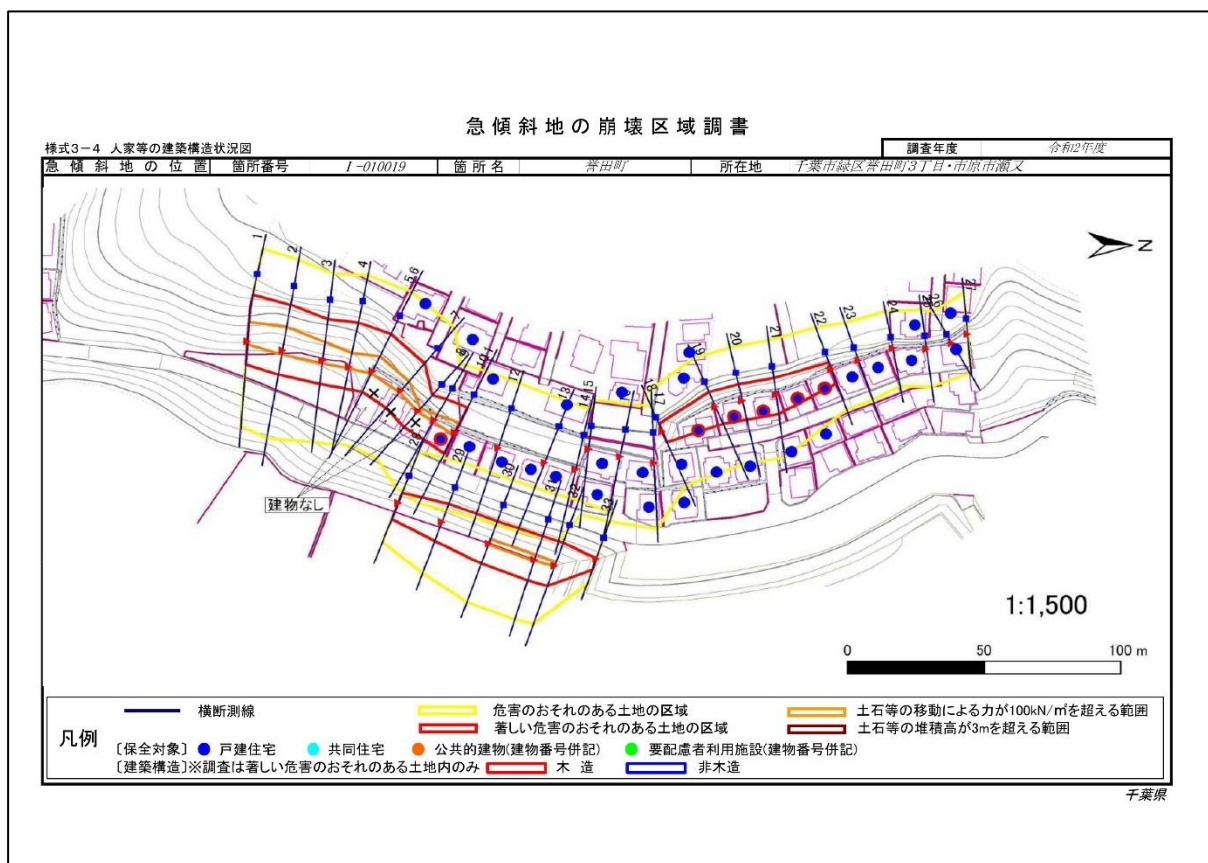
急傾斜地の崩壊区域調査				調査年度
様式3-3(2) 危害のおそれのある土地等の調査等				令和2年度
急傾斜地の位置	箇所番号	I-010019	箇所名	菅田町
所在地			千葉県緑区菅田町3丁目・市原市飯又	
関係諸法令の指定状況				
主に災害の防止に関する事項				
法律名	法規制区域・地区	有無	備考	
砂防法	砂防指定地	無	千葉県HP	
地すべり等防止法	地すべり防止区域	無	千葉県HP	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	無	千葉県HP	
森林法	保安林	無	国土交通省HP	
	保安施設地区	無	国土交通省HP	
建築基準法	災害危険区域	無	千葉県HP	
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	無	千葉県HP	
主に土地の現状に関する事項				
法律名	法規制区域・地区	有無	備考	
統計法	人口集中地区	無	総務省統計局webページ	
主に建築や開発の動向に関する事項				
法律名	法規制区域・地区	有無	備考	
都市計画法	市街化区域	有	国土交通省HP	
	市街化調整区域	無	国土交通省HP	
	未線引き区域	無	国土交通省HP	
	準都市計画区域	無	国土交通省HP	
離島振興法	離島振興対策実施地域	無	-	
過疎地域自立促進特別措置法	過疎地域	無	国土数値情報 過疎地域データ	
総合保養地域整備法	特定地域	無	国土交通省webページ(リンク先は調整地図)	
	国立公園	無	国土交通省HP	
自然公園法	国立公園	無	国土交通省HP	
	都道府県立自然公園	無	国土交通省HP	
都市緑地法	特別緑地保全地区	無	千葉県HP	
自然環境保全法	原生自然環境保全地域	無	環境省HP	
	自然環境保全地域特別地区	無	環境省HP	

千葉県

当該区域の各種法規制の有無を記入する。

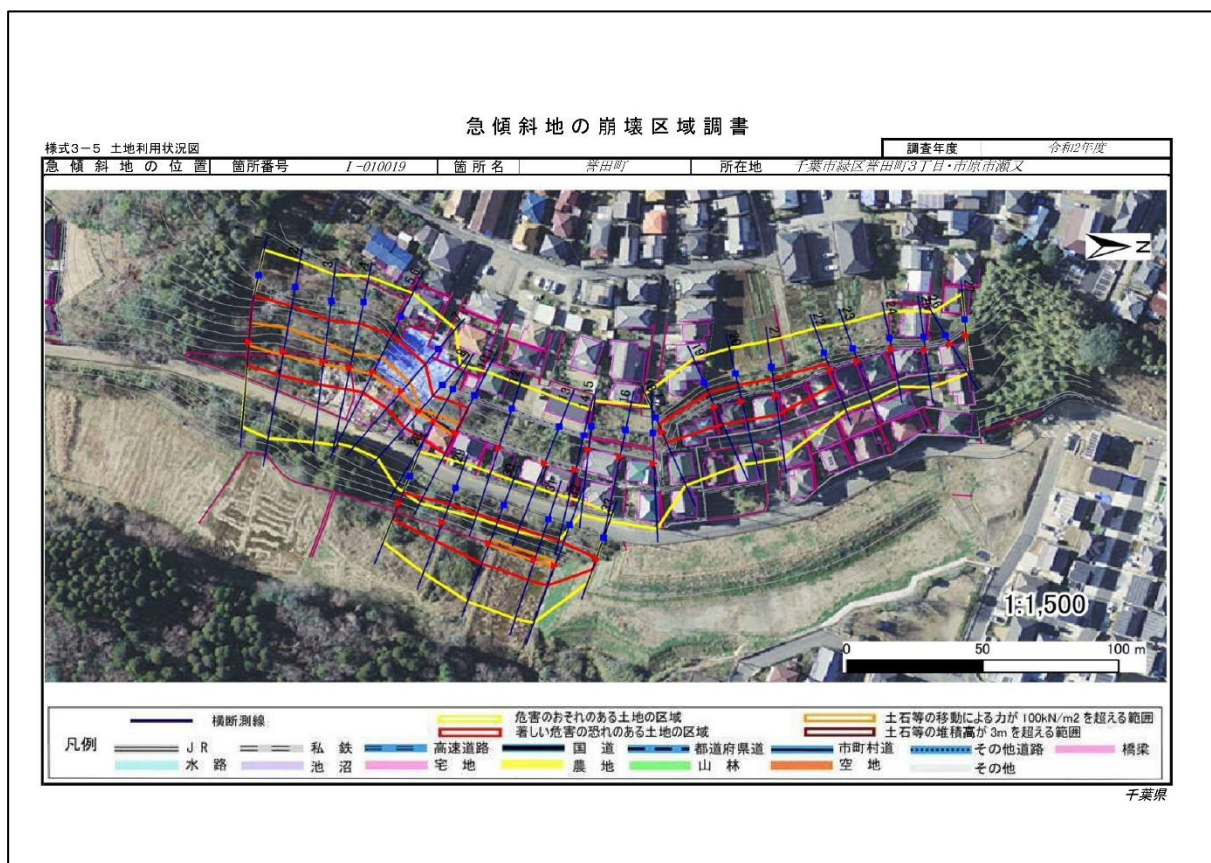
備考欄に、根拠として、当該法規制を確認した資料等を記入する。

様式3-4 人家等の建築物構造状況図



凡例に沿って、危害のおそれのある土地の区域等における人家、公共的建物、要配慮者利用施設等の位置を図示する。様式3-1と整合を図る。

様式 3-5 土地利用状況図



方位とスケールを記入する。
様式 3-1 と整合を図る。

様式 3-6 宅地開発の状況図及び建築の動向

急傾斜地の崩壊区域調査										調査年度 令和2年度			
様式 3-6 宅地開発の状況及び建築の動向													
急傾斜地の位置	箇所番号	箇所名		所在地		調査年度 令和2年度							
市	町	村	子葉原	雲山町		千葉県緑区雲山町31月・市原市瀬又							
1) 人口の経年変化	①	14年前(人)(ア)		10年前(人)(イ)		5年前(人)(ウ)		基準年(人)(エ)		増減			
		(平成17年度)		(平成21年度)		(平成26年度)		(平成31年度)		人口(人)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		
		都市計画区域内		26,200		28		13,300		1.1		13,800	
		市街化区域		856,900		883,100		26,200		3.1		889,700	
		市街化調整区域		67,400		67,400		0		0.0		64,100	
都市計画区域外													
準都市計画区域													
2) 都市計画区域の変遷	①	14年前(ha)(ア)		10年前(ha)(イ)		5年前(ha)(ウ)		基準年(ha)(エ)		増減			
		(平成17年度)		(平成21年度)		(平成26年度)		(平成31年度)		面積(ha)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		
		都市計画区域の面積		27,208		0		27,208		0.0		27,177	
		市街化区域		12,881		12,881		0		0.0		12,882	
		市街化調整区域		14,327		14,327		0		0.0		14,327	
準都市計画区域の面積													
3) 地価の経年変化	15年前(円/m ²)(ア)		10年前(円/m ²)(イ)		5年前(円/m ²)(ウ)		基準年(円/m ²)(エ)		増減				
	(平成16年度)		(平成21年度)		(平成26年度)		(平成31年度)		地価(円/m ²)	率[(ウ-ア)/ア] ×100(%)			
	市町村の平均価格(円/m ²)		74,500		75,500		1,000		1.3		66,400		
4) 建築確認申請の状況	③	16年前の申請数の合計(件)(ア)		11年前の申請数の合計(件)(イ)		6年前の申請数の合計(件)(ウ)		出典		出典			
		(平成15年度)		(平成20年度)		(平成25年度)		1) 国土交通省IP「都市計画状況調査」		2) 千葉県国土情報課「地価調査・地価公示」			
		専用戸建住宅		3,822		3,189		-633		-16.6		3,606	
		住宅 共同・その他		326		408		82		25.2		398	
		併用住宅		73		42		-31		-42.5		28	
合計		4,221		4,039		-182		-4.3		4,032			
5) 農地転用の状況	②	16年前の申請数の合計(件)(ア)		11年前の申請数の合計(件)(イ)		6年前の申請数の合計(件)(ウ)		出典		出典			
		(平成15年度)		(平成20年度)		(平成25年度)		1) 国土交通省IP「都市計画状況調査」		2) 千葉県国土情報課「地価調査・地価公示」			
		一般住宅		633		410		-223		-35.2		457	
		その他の住宅		86		276		190		220.9		103	
合計		719		686		-33		-4.6		560			

千葉県

①人口の経年変化、都市計画区域の変遷

都市計画区域の指定が無い場合は「-」を記入する。

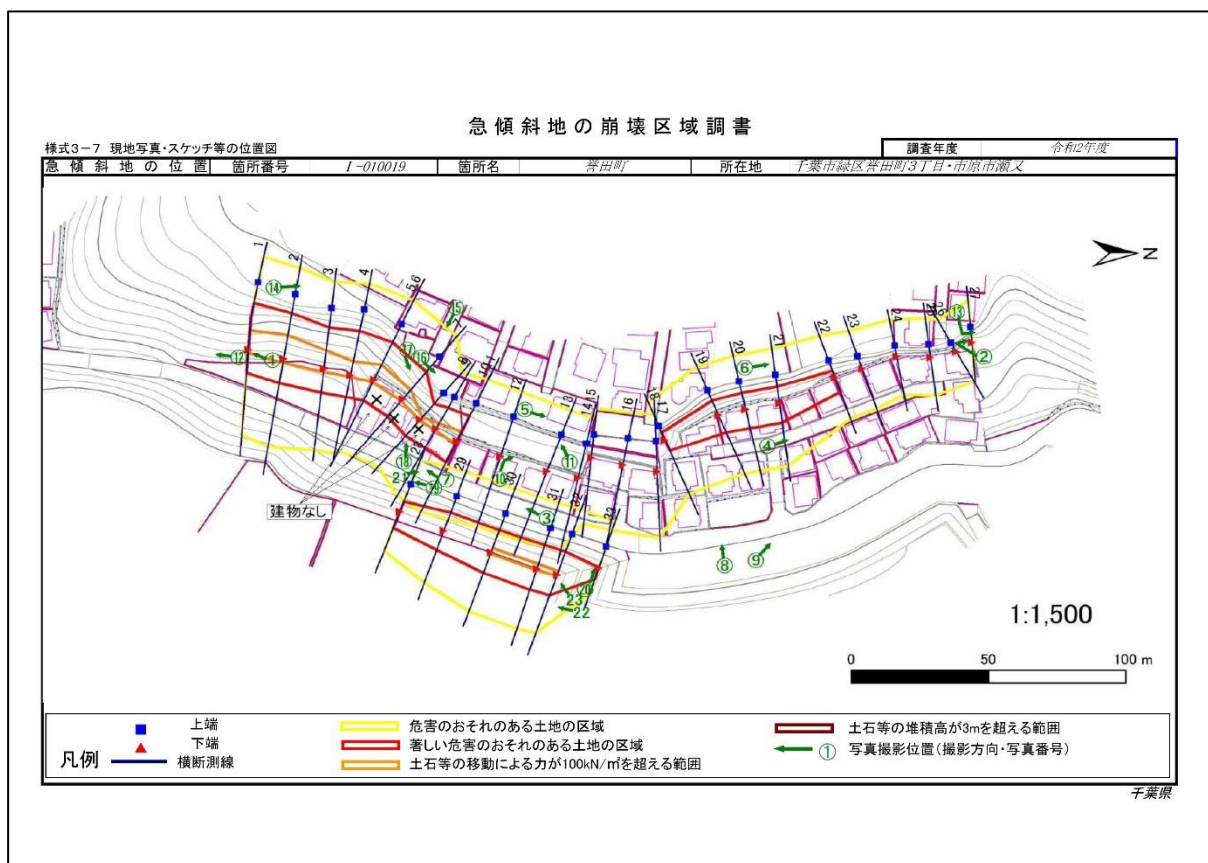
②農地転用の状況

農地転用の申請が無い場合は「-」を記入する。

③出典

各項目の出典を記載する。



様式3-7 現地写真・スケッチ等の位置図



当該区域の遠景及び近景、対策施設の状況、現地確認により上下端を修正した場合の上下端の状況、砂防基盤図と現地の不整合箇所、排水状況の確認結果（水みち痕など）等について分かりやすく写真及びスケッチ等で示す。

様式3-8 と整合を図る。

様式3-8 現地写真・スケッチ等

急傾斜地の崩壊区域調書				調査年度	令和2年度
様式3-8 現地写真・スケッチ等					
急傾斜地の位置	箇所番号	箇所名	所在地		
写真番号①	I-010019	菅田町	千葉県緑区菅田町3丁目・市原市瀬又		
写真番号①			写真番号②		
					
左端(対象斜面勾配が30度を切る地点に設定した。)			右端(対象斜面の高程点が5mを切る段差地形地点に設定した。)		
千葉県					

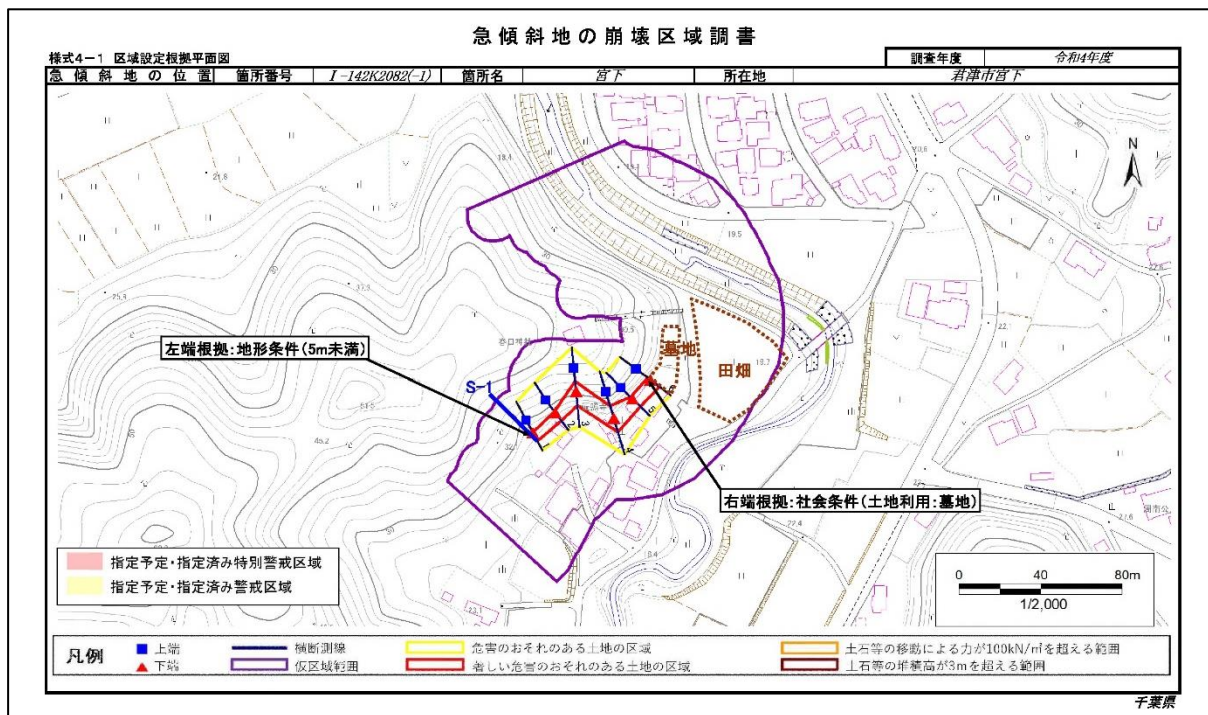
当該区域の急傾斜地や対策施設の状況（管理者やプレートなど）等が分かるよう現地写真を整理し、起終点の設定根拠や急傾斜地の地形状況（植生など）等についてコメントを記載する。

左右の端部設定根拠については、様式 4-1、様式 4-2 と整合を図ることとし、特に土地利用境界（立地条件なし）とする場合には、写真等によりその境界等を明確にすること。

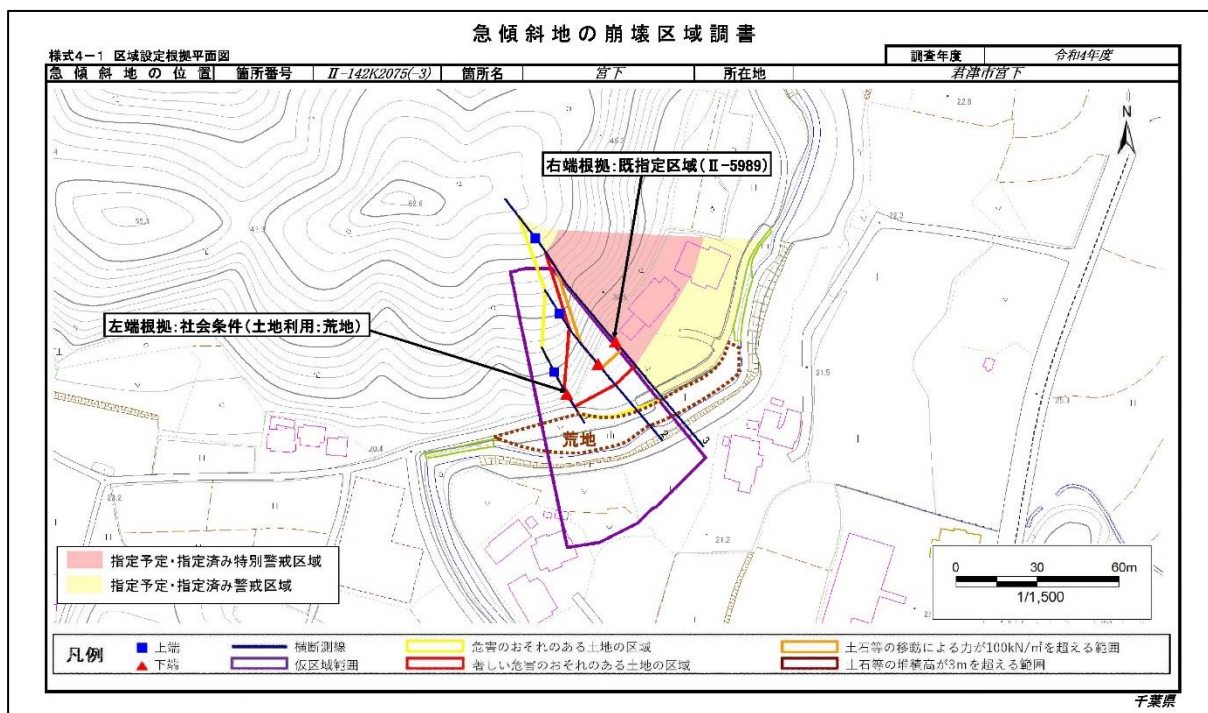
なお、設定根拠については、読み合わせメモ別紙における「端部設定について」と文言を統一させること。

様式 3-7 と写真番号の整合を図る。

様式4-1 区域設定根拠平面図



各区域の両端部の設定根拠を記載することとし、様式 3-8、様式 4-2 と整合を図ること。特に端部設定根拠を土地利用境界とする場合には、上図のとおりその根拠となった土地利用状況を明示することが望ましい。



また、端部設定根拠として「既指定区域（箇所番号、箇所名）」とする場合には、上図のとおり既指定区域の範囲を示すことが望ましい。

様式4-2 区域設定根拠断面図

様式4-2 区域設定根拠断面図(27/33)				調査年度	令和2年度	
急傾斜地の位置	箇所番号	1-010019	箇所名	善田町	所在地	千葉県緑区善田町3丁目・市原市瀬又
横断測線番号	No.27	凡例		コメント		
		<p>①</p> <p>右端は対象斜面の高さが5mを切る段差地形地点に設定した。 測線No.27:傾斜角44.99°、高さ6.00m 下端からレッドゾーン末端までの距離1m、下端からイエローゾーンまでの距離12.00m</p>				
<p>②</p> <p>下端写真 上端写真</p>		<p>③</p>				

千葉県

区域設定根拠とした横断測線毎の断面図を図示し、説明を加える。

①コメント

下端の設定根拠に「傾斜変換点、対策工基部、道路縁」など明確に記載する。

様式4-4の高さ、傾斜度等と整合を図る。

また、左右端部となる側線については端部設定根拠を記載することとし、様式3-8、様式4-1と整合を図ること。

②現地写真

急傾斜地の地形、地表や上下端の位置が把握できる写真を掲載する。

下端位置はポール等で明確に示す。

③スケッチ

机上設定した断面が現地と異なり、上下端の位置を修正する必要がある場合などは、スケッチにより現地状況を補足、記録する。

様式4-3 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果(計算条件)

急傾斜地の崩壊区域調査																				調査年度	令和2年度												
様式4-3 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果(計算条件)(1/3)																																	
急傾斜地の位置		面所番号			面所名			所在地										移動する土石等の高さ		1.0 m													
1-010019		谷田町			千葉県緑区谷田町3丁目・市原市瀬又																												
横断測線番号	① 地形条件			② 地質条件					③ 対策施設効果												備考												
	高さ (m)	傾斜度 (°)	地下部端の傾斜度 (°)	厚移動の内部φ (°)	厚堆積物の内部φ (°)	体積重量γ (kN/m³)	原因対策効果					待受け式対策施設効果						待受け式対策施設の現地計測形状															
							施設有無	施設番号	施設1高さh ₁ (m)	施設2高さh ₂ (m)	施設空高さh ₃ (m)	残斜面高さ (m)	想定される崩壊の規模 崩壊土量V (m³)	崩壊土幅W (m)	施設有無	施設番号	下壁からの距離d (m)	下幅dh (m)	上幅dh (m)	構骨面上壁dp (m)		擁壁等高さh ₁ (m)	落石防護欄高さh ₂ (m)	断面積 (㎡)	施設高さH (m)	天端幅Wh (m)	前勾配1m (%)	後勾配1m (%)	その他				
1	16.20	31.92	0.00	30.00	30.00	18.00	無		0.00	0.00	0.00	15.20	100.00	19.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
2	17.00	34.22	0.00	30.00	30.00	18.00	無		0.00	0.00	0.00	17.00	100.00	19.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
3	15.68	34.01	0.00	30.00	30.00	18.00	無		0.00	0.00	0.00	15.68	100.00	19.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
4	15.20	20.90	0.00	30.00	30.00	18.00	無		0.00	0.00	0.00	15.20	100.00	19.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
5	15.20	33.01	0.00	30.00	30.00	18.00	無		0.00	0.00	0.00	15.20	100.00	19.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
6	15.20	33.01	0.00	30.00	30.00	18.00	有	1	2.00	0.00	0.00	13.20	80.00	17.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
7	14.00	33.69	0.00	30.00	30.00	18.00	有	1	2.20	0.00	0.00	11.80	80.00	17.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
8	11.80	41.37	0.00	30.00	30.00	18.00	有	1	0.00	0.00	0.00	11.80	80.00	17.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
9	14.62	46.78	0.00	30.00	30.00	18.00	有	1	5.40	0.00	0.00	9.22	40.00	14.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
10	15.00	43.16	0.00	30.00	30.00	18.00	有	1	5.90	0.00	0.00	9.10	40.00	14.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
11	15.00	43.16	0.00	30.00	30.00	18.00	有	12	5.90	8.00	0.00	1.10	0.00	0.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
12	14.00	41.52	0.00	30.00	30.00	18.00	有	12	5.40	8.00	0.00	0.60	0.00	0.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
13	14.00	43.37	0.00	30.00	30.00	18.00	有	12	5.40	8.00	0.00	0.60	0.00	0.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
14	14.00	46.05	0.00	30.00	30.00	18.00	有	12	5.40	8.00	0.00	0.60	0.00	0.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
15	12.55	54.66	0.00	30.00	30.00	18.00	有	345	5.40	7.15	0.00	0.00	0.00	0.00	無		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

千葉県

区域設定根拠とした横断測線毎の断面図を図示し、説明を加える。

①地形条件

各横断測線の高さが5m、傾斜度30度以上となっているか、様式4-2と整合がとれているか確認する。

②地質条件

様式2-1で設定した土質定数等と一致しているか確認する。

また、一致していない場合は根拠を備考に記載する。

③対策施設効果

施設有無、施設番号等は様式2-4と整合を図る。

想定される崩壊の規模が、マニュアルの値と一致しているか確認する。

また、一致していない場合は根拠を備考に記載する。

④移動する土石等の高さ

様式2-1で設定した移動する土石等の高さとは一致しているか確認する。

様式4-4 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果

急傾斜地の崩壊区域調査															調査年度					
様式4-4 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果(1/3)															令和2年度					
急傾斜地の位置		箇所番号		I-010019		箇所名		茶田町		所在地		千葉市緑区茶田町3丁目・市原市瀬又		備考						
横断 測線 番号	急傾斜地の高さ ① (m)	急傾斜地の傾斜度 ① (°)	② 危険の害の区域のおそれのある土 下端からの距離 (m)	③ 下端に隣接する土地				④ 急傾斜地内				⑤ 土石等の移動の高さ (m)	力が最大となる地点							
				移動による力		堆積による力		移動による力		堆積による力			移動による力		堆積による力					
				建築物の限界耐力を上回る位置	移動による力100kN/m ² の位置	建築物の限界耐力を上回る位置	堆積する高さ3mの位置	建築物の限界耐力を上回る位置	移動による力100kN/m ² の位置	建築物の限界耐力を上回る位置	堆積する高さ3mの位置		下端からの距離	最大となる位置	最大となる位置	最大となる位置	最大となる位置			
			(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(kN/m ²)	(m)	(kN/m ²)				
1	16.20	31.92	32.40	-10.00	8.87	1.08	1.04	-	8.87	5.00	11.53	10.00	-	5.00	1.00	0.00	116.32	0.00	2.14	11.46
2	17.00	34.22	34.00	-10.00	9.34	1.55	1.18	-	9.34	5.00	10.85	10.00	-	5.00	1.00	0.00	123.70	0.00	2.22	11.90
3	15.68	34.01	31.36	-10.00	9.07	1.28	1.16	-	9.07	5.00	10.89	10.00	-	5.00	1.00	0.00	119.39	0.00	2.22	11.86
4	15.20	30.90	30.40	-10.00	8.50	0.72	0.98	-	8.50	5.00	12.07	10.00	-	5.00	1.00	0.00	110.67	0.00	2.11	11.27
5	15.20	33.01	30.40	-10.00	8.85	1.06	1.11	-	8.85	5.00	11.15	10.00	-	5.00	1.00	0.00	115.95	0.00	2.18	11.67
6	15.20	33.01	30.40	-10.00	8.85	1.06	0.77	-	8.85	5.00	11.15	10.00	-	5.00	1.00	0.00	115.95	0.00	2.05	10.95
7	14.00	33.69	28.00	-10.00	8.66	0.87	0.81	-	8.66	5.00	10.97	10.00	-	5.00	1.00	0.00	113.09	0.00	2.07	11.07
8	11.80	41.37	23.60	-10.00	8.15	0.36	1.18	-	8.15	5.00	10.81	5.00	-	5.00	1.00	0.00	105.38	0.00	2.33	12.45
9	14.62	46.78	29.24	-10.00	8.50	0.72	0.39	-	8.50	5.00	12.28	5.00	-	5.00	1.00	0.00	110.66	0.00	1.98	10.60
10	15.00	43.16	30.00	-10.00	8.99	1.21	0.25	-	8.99	5.00	11.15	5.00	-	5.00	1.00	0.00	118.24	0.00	1.88	10.05
11	15.00	43.16	30.00	-10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
12	14.00	41.32	28.00	-10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
13	14.00	43.37	28.00	-10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
14	14.00	46.05	28.00	-10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
15	12.55	54.66	25.10	-10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-

千葉県

①急傾斜地の高さ、急傾斜地の傾斜度、土石等の移動の高さ

各項目について、様式4-3と整合を図る。

②危害のおそれのある土地の区域

下端からの距離について、様式3-2と整合を図る。

③著しい危害のおそれのある土地の区域（下端に隣接する土地）

移動による力と堆積による力それぞれの下端からの距離について、様式3-1及び様式4-2の横断図と整合を図る。

下端からの距離は、移動による力と堆積による力の建築物の限界耐力を上回る位置の最大値とする。

④著しい危害のおそれのある土地の区域（急傾斜地内）

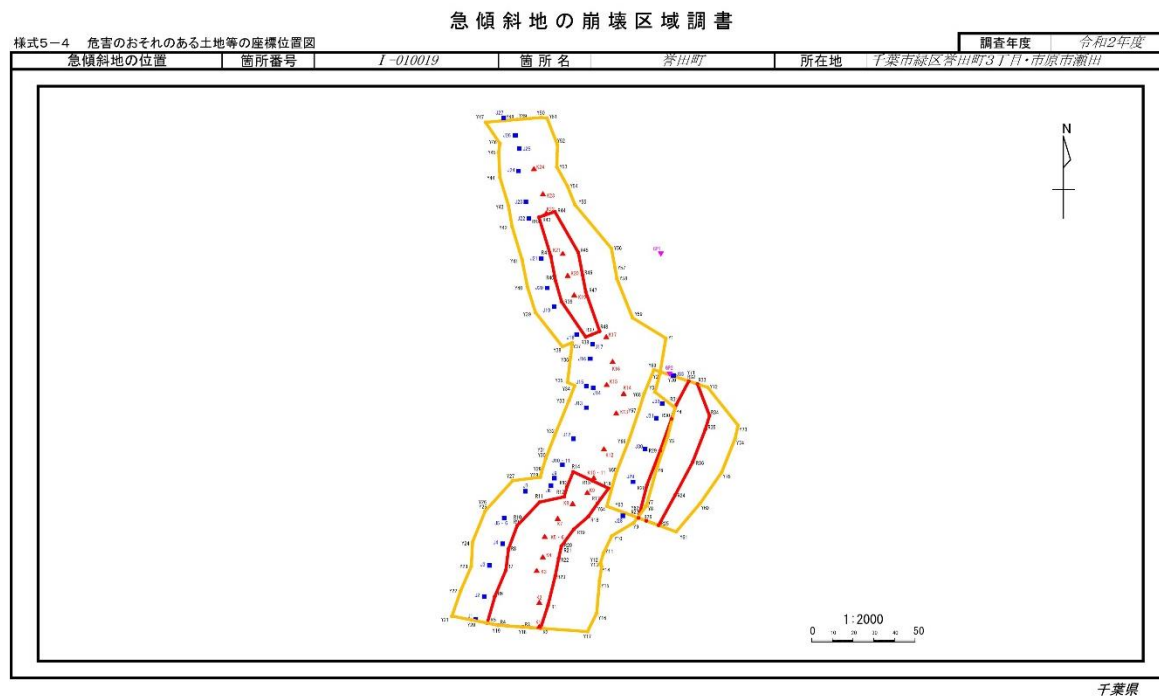
移動による力と堆積による力それぞれの上端からの比高について、様式3-1及び様式4-2の横断図と整合を図る。

上端からの比高は、移動による力と堆積による力の建築物の限界耐力を上回る位置の最小値とする。（ただし、5mを下回らない。）

⑤土石等の移動の高さ

様式2-1と整合を図る。異なる場合は理由を備考に記載する。

様式5-1 危害のおそれのある土地等の座標位置図



様式5-2 危害のおそれのある土地等の座標一覧

急傾斜地の崩壊区域調査

様式5-5 危害のおそれのある土地の座標一覧

急傾斜地の位置	箇所番号	I-010019	箇所名	芥田町	所在地	千葉県緑区芥田町3丁目・市原市瀬田
						調査年度
						令和2年度

危害のおそれのある区域の座標(土砂災害警戒区域)					著しい危害のおそれのある区域の座標(土砂災害特別警戒区域)						
地点記号	X(m)	Y(m)	地点記号	X(m)	Y(m)	地点記号	X(m)	Y(m)	地点記号	X(m)	Y(m)
Y1	-50820.193	34649.084	Y32	-50870.578	34593.511	R1	-50958.884	34590.146	R32	-50842.481	34660.527
Y2	-50838.661	34646.076	Y33	-50852.509	34600.632	R2	-50970.880	34586.412	R33	-50843.963	34664.866
Y3	-50848.097	34643.630	Y34	-50844.825	34603.477	R3	-50970.217	34577.568	R34	-50880.413	34670.909
Y4	-50856.292	34653.681	Y35	-50843.100	34599.917	R4	-50969.296	34565.261	R35	-50887.571	34668.811
Y5	-50871.237	34650.022	Y36	-50829.744	34601.413	R5	-50968.168	34559.736	R36	-50884.558	34662.478
Y6	-50886.801	34644.823	Y37	-50822.447	34602.277	R6	-50954.359	34563.546	R37	-50818.306	34611.983
Y7	-50907.356	34639.289	Y38	-50824.556	34597.331	R7	-50940.753	34569.037	R38	-50819.585	34608.985
Y8	-50907.370	34639.291	Y39	-50806.748	34583.849	R8	-50929.633	34570.388	R39	-50801.180	34596.887
Y9	-50916.006	34633.082	Y40	-50793.636	34579.858	R9	-50917.642	34574.667	R40	-50790.436	34593.940
Y10	-50922.891	34622.056	Y41	-50779.422	34577.158	R10	-50917.632	34574.674	R41	-50777.528	34591.520
Y11	-50931.823	34617.878	Y42	-50762.160	34572.156	R11	-50905.352	34585.917	R42	-50757.319	34585.577
Y12	-50937.567	34616.242	Y43	-50751.428	34570.396	R12	-50902.581	34598.212	R43	-50756.392	34588.148
Y13	-50937.576	34616.235	Y44	-50736.642	34566.064	R13	-50897.359	34599.651	R44	-50754.447	34593.542
Y14	-50938.848	34616.927	Y45	-50723.544	34565.458	R14	-50889.575	34602.727	R45	-50775.709	34605.311
Y15	-50946.303	34615.897	Y46	-50719.053	34566.097	R15	-50894.242	34612.316	R46	-50787.378	34607.403
Y16	-50963.019	34614.459	Y47	-50707.976	34558.833	R16	-50898.177	34620.401	R47	-50796.017	34608.977
Y17	-50972.637	34609.877	Y48	-50707.096	34568.794	R17	-50905.903	34614.969	R48	-50816.609	34615.960
Y18	-50970.217	34577.568	Y49	-50706.567	34574.769	R18	-50912.872	34610.294			
Y19	-50969.296	34565.261	Y50	-50705.511	34586.723	R19	-50919.486	34602.983			
Y20	-50966.563	34551.875	Y51	-50705.772	34589.606	R20	-50928.246	34596.807			
Y21	-50964.563	34542.077	Y52	-50719.645	34594.843	R21	-50928.255	34596.800			
Y22	-50951.448	34546.439	Y53	-50731.227	34594.551	R22	-50934.594	34595.445			
Y23	-50938.707	34551.756	Y54	-50741.238	34599.884	R23	-50943.681	34593.758			
Y24	-50926.067	34552.379	Y55	-50750.828	34603.576	R24	-50901.579	34653.771			
Y25	-50909.988	34558.708	Y56	-50773.531	34621.825	R25	-50917.408	34645.445			
Y26	-50909.978	34558.714	Y57	-50783.678	34623.688	R26	-50915.029	34639.246			
Y27	-50894.191	34572.441	Y58	-50789.346	34624.596	R27	-50913.540	34635.365			
Y28	-50892.416	34586.280	Y59	-50809.595	34632.403	R28	-50896.497	34639.620			
Y29	-50890.196	34586.813	Y60	-50906.040	34666.193	R29	-50878.694	34646.220			
Y30	-50882.863	34588.935	Y61	-50920.762	34654.183	R30	-50882.154	34651.878			
Y31	-50882.852	34588.939	Y62	-50915.029	34639.246	R31	-50854.581	34654.380			

千葉県

座標は、世界測地系（測地成果 2011）で整理する。

指定要件が無い場合の区域調書の作成例

